

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	特定非営利活動法人 宅老所 心	代表者	村田 美穂子	法人・ 事業所 の特徴	通いサービスを中心に利用者の希望や状況に応じて訪問サービスや宿泊サービスを 組み合わせて提供します。 日中、訪問、夜間とそれぞれ違う場面でも顔なじみのスタッフによる連続性のあるケ アで、自宅での継続した生活を支援致します。
事業所名	小規模多機能型 居宅介護事業所 心	管理者	尾曲 秀樹		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援C	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	0人	0人	1人	1人	4人	0人	10人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 自己評価の確認	来年度も、今回の様に目に見えた形で実施し全職員が参加できるようにする。	取組みとして、前回同様のやり方で、実施出来たのは良かった。	前回同様の目に見えた形で行えたことは良かったと思う。	継続して実施して貰えたら良い。
B. 事業所のしつらえ・環境	独りで出て行かれる方に対して職員が付き添う事が出来ている。今後も、継続できるようにする。	継続して付き添いが出来ている。	地域の方が、公民館の鍵を借りに事業所に入る事は望ましい事である。	継続して公民館の鍵を保管する事で、新規の住民の方にも認知してもらえるので、継続する。
C. 事業所と地域のかかわり	今以上に地域に開かれた事業所である事の啓蒙をしていく。(回覧等を利用する)	月に1度広報を地域に回覧している事で、地域の方には事業所の取組みが伝えられている。	何か困りごとや相談ごとがあった場合、本部に先相談されるので、その後事業所伝わってくる。直での相談は今のところ無い。	地域の方が相談しやすい雰囲気や環境を整える。
D. 地域に出向いて本人の暮らしをささえる取組み	現在、登録利用者以外の方との関わりが無い為、実施していない。今後、必要に応じて対応を検討する。	特に相談等もなく取組みは行っていない。	地域の老人会等への参加は声をかけてもらい参加しているが、それ以外のもイベントには参加できていない。	地域で開催されている「いきいき百歳体操」に積極的に参加する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	今後、会議内で意見を集約するようになる。	特に事例検討は行われなかった。	地域の心配な方等の事例検討までは出来ていないが、事業所に来られ様子観察はしている。	必要に応じて会議内で事例検討を実施していく。
F. 事業所の防災・災害対策	防災計画は、事業所として無い為、作成する。(消防計画のみある)	防災計画は、作成できていない。	防災計画はあるのか。また、いつ防災訓練をしているのかが分からない。	防災計画を作成する。また、地域の自主防災に参加する。